

02款	総務費	01項	総務管理費	01目	一般管理費	
事業名					実践型職員研修事業費	単位：円
事業内容	職員の資質と能力の向上のため、遠野市人材育成基本方針に基づき、やる気・本気・根気のある能動型職員の育成を図る。			計 画 値	研修会開催回数	43回
					研修受講者数	延べ 423人
成果	職員の能力開発を促すため、人材育成基本方針にある職員研修計画に基づく研修のほかに、若手・中堅職員を重点とした研修機会の提供を積極的に行った。特に民間企業や各種団体等の研修を活用し、柔軟な発想力の養成、自己表現力等の強化及び職員の意識向上を図った。 また、民間感覚の取得やノウハウ吸収などのため、民間企業等に2人を研修派遣した。			実 績 値	研修会開催回数	42回
	1 階層別研修（6回） 41人 2 専門研修（9回） 31人 3 民間等活用研修（17回） 124人 4 全体研修（8回） 200人 5 民間研修派遣（富士ゼロックス(株)1人、(一財)日本みち研究所1人）				研修受講者数	延べ 398人
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
5,739,000	5,147,260	0	0	1,241,227	3,906,033	

02款	総務費	01項	総務管理費	01目	一般管理費	
事業名					電算処理事業費	単位：円
事業内容	住民基本台帳、文書管理、財務会計等の各種システム（ネットワーク設備含む）の維持管理、機器の更新を行う。			計 画 値	障害発生時の復旧対応 随時	
成果	住民基本台帳、文書管理、財務会計等の各種システムにおいて、大きなシステム障害は発生しなかった。無停電電源装置（1回）、サーバーディスクの交換（2回）等維持管理を行った。 セキュリティ強化を図るため、スパムメール対策、資産管理システムを更新した。 市民サービスの充実・高度化に向け、新たなICT技術を活用した情報環境の構築と整備について検討を行う「ICTを活用した情報環境整備研究会」を設置した。			実 績 値	障害発生時の復旧対応 随時	
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
104,746,000	103,488,047	0	0	50,000	103,438,047	

02款	総務費	01項	総務管理費	01目	一般管理費
事業名		地区行政一般事務費			単位：円
事業内容	<p>市民と行政をつなぐ重要な役割を担う区長としての資質向上が図られるよう、市区長連絡協議会に補助金を交付し、区長による研修の実施等を支援するほか、情報交換や市政に対する要望の機会を設ける。</p> <p>また、自治会等の円滑な運営を支援するため、行政区事務費交付金を交付する。</p>			計	区長報酬 90人 市区長連絡協議会補助金 1件 行政区事務費交付金 194件
	成果	<p>1 区長報酬 27,630,000円（年307,000円×90人）</p> <p>2 各町区長会において、県内外で地域づくり活動等に関わる研修を行い、市区長連絡協議会から研修に要する費用の一部を助成した。</p> <p>3 自治会等に対して行政事務費交付金 3,645,000円を交付し、円滑な運営を支援した。</p>			実績
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
33,819,000	33,763,818	0	0	0	33,763,818

02款	総務費	01項	総務管理費	01目	一般管理費
事業名		市民協働推進事業費（一般）			単位：円
事業内容	<p>地域の特性を生かし、創意と工夫をこらした特色ある地域づくりを推進するため、市民による多様な組織が行う地域づくり活動を対象に、「みんなで築くふるさと遠野推進事業（成果欄等では「補助事業」と表記）」補助金を交付する。</p> <p>また、財団法人自治総合センターが行う「コミュニティ助成事業（成果欄等では「助成事業」と表記）」を活用し、自治会等におけるコミュニティ活動に必要な備品の整備に対して補助金を交付する。</p>			計	補助事業実施数 55事業 補助事業参画者数 2,550人 花いっぱい運動参加者数 3,900人
	成果	<p>補助事業では、遠野遺産保護・活用事業9事業に7,437千円を補助した。事業費総額が1,000千円を超える事業が4事業あり、事業への取り組みを契機として、祭礼の復活や郷土理解が深まるなど、地域資源の再発見や郷土愛の意識醸成に寄与した。全体の事業件数は63件あり、補助金額は15,550千円で当初予算額の86%が執行された。</p> <p>助成事業では、附馬牛地連協の申請が採択され、コミュニティ活動に使用する備品として会議用机などの購入費1,600千円を補助し、地域コミュニティ活動の支援・助長が図られた。</p>			実績
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
19,764,000	17,212,000	0	0	17,100,000	112,000

02 款 総務費		01 項 総務管理費		01 目 一般管理費		
事業名 市民協働推進事業費（地域活動専門員）					単位：円	
事業内容	<p>少子高齢化が進行し、地域における諸課題への対応や、組織運営に携わる人材、諸活動の推進に支障が生じてきており、地域力の再生が求められている。</p> <p>地域力を高め諸課題に取り組む地域住民を支援するため、「地域づくり」「健康づくり」「人づくり」を基本として多様な手法で課題に取り組む、地域活動専門員を配置する。</p>			計画値	地域活動専門員配置数 12人	
	成果	<p>全市対応型の専門員を市民センター及び上郷地区センターに配置し、地域防災活動の支援、地域安全啓発活動支援、伝統文化の継承活動の支援に取り組んだ。</p> <p>地域対応型の専門員を、小友・附馬牛地区センターに各2人、綾織・上郷・宮守地区センターに各1人配置し、地域全般の活性化事業支援、地域スポーツクラブの運営支援、特産品開発や買い物弱者対策支援、地域の将来を担う若い世代の組織づくりと活動支援に取り組んだ。</p>			実績値	地域活動専門員配置数 9人
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
25,885,000	24,918,485	0	0	0	24,918,485	

02 款 総務費		01 項 総務管理費		01 目 一般管理費		
事業名 市民協働推進事業費（河川清掃等）					単位：円	
事業内容	<p>市内の一級河川等を地域住民で清掃する活動に対し、遠野市公衆衛生組合連合会を通じて、各区（自治会）の実績に応じた交付金を交付する。</p> <p>この事業は県と市の業務委託により実施され、県からの委託料が遠野市公衆衛生組合連合会の補助金の財源となる。</p> <p>また、各区（自治会）に地域内の市道の草刈等の清掃活動を依頼し、これに対する交付金を交付する。</p>			計画値	河川清掃参加者数 8,500人	
	成果	<p>河川清掃の参加者は昨年度に比べ、一般164人、児童生徒127人、計291人の減少となった。高齢化が進み参加困難な高齢者のみの世帯の増加と、少子化が進む中でも地域活動への参加意識は高く、多くの住民と児童生徒の参加に努めた経過がみられた。</p> <p>市道の清掃活動は地域の計画に沿って実施され、参加者は計画値を1,565人上回った。</p> <p>内容は河川清掃時の小、中学生によるごみ拾いや、区域を指定しての年に数回の草刈り、花壇の整備、冬期間の除雪など、多岐にわたる取り組みが行われた。</p>			実績値	河川清掃参加者数 7,590人
				国県支出金		地方債
6,414,000	6,413,400	4,163,400	0	2,200,000	50,000	

02款	総務費	01項	総務管理費	01目	一般管理費	
事業名					消費者行政費	単位：円
事業内容	<p>平成21年度に消費者安全法が改正されたことにより消費生活相談が市町村事務となり、住民に対するきめ細かなサービス向上を図る相談体制の強化が必要となった。そのため平成23年4月から消費生活相談体制の整備を行い、平成24年4月から市民センター内に消費生活相談窓口を設置している。</p> <p>弁護士相談等との連携により、市民の多様な相談に対応する総合相談窓口としての機能強化を図る。消費者の苦情相談等のニーズに対応し、安全安心な消費生活の向上を目指す。</p>			計 画 値	消費生活相談員の配置	2人
					窓口相談件数	600件
成果	<p>消費生活相談窓口での相談は他課と連携し、市民の多種多様な相談に対してきめ細やかな対応を行った。</p> <p>地区センターや各種団体と連携し、消費生活相談講座を行い、高齢者等への悪徳商法等の周知を図り、消費者被害防止に努めた。</p>			実 績 値	消費生活相談員の配置	2人
					窓口相談件数	625件
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳		
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他
27,792,000		27,264,521		3,657,032	0	21,000,000
						一 般 財 源
						2,607,489

02款	総務費	01項	総務管理費	01目	一般管理費	
事業名					総合交通対策事業費	単位：円
事業内容	<p>1 地域内の生活交通の確保を図る。</p> <p>(1) 廃止路線代替バスの運行支援（早池峰バス㈱、住田町）</p> <p>(2) 廃止路線代替デマンドバスの運行（小友・綾織の一部）支援（遠野交通㈱）</p> <p>(3) 廃止路線代替市営バス（宮守町）運行（㈱宮守交通）</p> <p>2 福祉・中心市街地活性化低料金バス運行支援</p> <p>3 新たな交通システムの構築・導入に向けた取り組みを推進</p> <p>(1) スクールバス一般利用者混乗試行運行</p> <p>4 廃止路線代替バス車両の老朽化が著しいことから、1台更新を行う。</p>			計 画 値	公共交通会議	1回
					廃止路線代替交通の運行	4形態
成果	<p>1 廃止路線代替バス4形態の運行を支援するなど、市民の通院、通学及び買い物等の生活交通を確保した。</p> <p>2 低料金バスの運行を行い、福祉及び中心市街地活性化を図った。</p> <p>3 市内公共交通事業者等関係者による公共交通会議及び総合交通システム研究会等を開催し、路線バスの運行見直し、スクールバス一般利用者混乗試行運行、新たな公共交通システム構想の検討を行った。</p> <p>4 廃止路線代替バス購入については、特殊車両のため納車に時間を要することから、平成27年度に繰り越して実施する。</p>			実 績 値	公共交通会議	1回
					公共交通システム研究会	1回
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳		
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他
98,281,000		78,150,660		0	0	76,504,700
						一 般 財 源
						1,645,960

02款	総務費	01項	総務管理費	01目	一般管理費
事業名		復興支援事業費			単位：円
事業内容	<p>1 後方支援活動 東日本大震災の被災地及び当市への避難者に対する効果的かつ継続的な後方支援活動の展開を図るため、次の事業を実施する。 (1) 復興支援のための物資購入 (2) 行政視察、講演依頼等への対応 (3) 市内避難者への情報提供</p> <p>2 被災農地再生支援 遠野市認定農業者協議会が沿岸被災地の農地復興を支援する活動経費に対し、市が支援する。</p>			計 画 値	
	<p>1 後方支援活動 全国各地の自治体・関係機関・団体・学生等からの視察や講演依頼に対応し、当市が行った後方支援活動について広く発信することができた。当市の活動を参考に後方支援体制の整備に取り組む自治体も出ている。 また、被災者の方々を元気づけるため、市内で開催された復興支援コンサートに無料招待し、喜んでいただいた。</p> <p>2 被災農地再生支援 東日本大震災被災地の営農再開が一日も早く実現できるように、遠野市認定農業者協議会が被災地農業者等の要請に応じて復興支援に要した機械リース代等に遠野市認定農業者協議会復興支援活動事業費補助金を交付し農業復旧・復興支援を実現した。</p> <p>【支援地区】 大槌町吉里吉里 【支援内容】 津波被害を受けた農地に堆肥運搬及び散布、耕起作業を実施した。</p>			実 績 値	
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
3,484,000	2,601,181	0	0	2,600,258	923

02款	総務費	01項	総務管理費	01目	一般管理費	
事業名					単位：円	
社会保障・税番号制度関連システム整備事業費						
事業内容	<p>平成28年1月からのマイナンバー利用開始に向け、社会保障・税番号制度の導入にあたって必要となる住民情報システム等の関係情報システム整備を行う。</p> <p>【社会保障・税番号に係る主なスケジュール】</p> <p>平成27年10月 マイナンバーの付番・通知</p> <p>平成28年1月 マイナンバーの利用開始</p> <p>平成29年1月 マイナポータルの運用開始</p>			計画値	システム改修	
	成果	<p>社会保障・税番号制度施行に向け、国から提示されたガイドラインに沿ったシステムの改修等を行った。</p> <p>1 住民基本台帳システム</p> <p>2 地方税務システム</p> <p>3 団体内統合宛名システム</p> <p>4 中間サーバー・プラットフォーム利用負担金</p>			実績値	システム改修
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
11,997,000	11,997,000	9,947,000	0	0	2,050,000	

02款	総務費	01項	総務管理費	01目	一般管理費	
事業名					単位：円	
後方支援資料館整備事業費						
事業内容	<p>東日本大震災を風化させず、遠野市が官民一体となって取り組んだ後方支援活動の記録と教訓をこれからの災害対応に活かすため、公開する仮設建物を整備し、市が保有する数多くの貴重な資料を広く一般に展示する。</p>			計画値	遠野市後方支援資料館整備 1棟	
	成果	<p>平成27年3月14日、遠野市総合防災センター敷地内に「遠野市後方支援資料館」を開所した。震災対応時の手書き模造紙や写真パネルを展示・公開することにより、多くの市民や来訪者に災害対応の内容を肌で感じてもらい、市民の防災意識を高め、来訪者には「遠野の後方支援」を理解いただいた。</p>			実績値	遠野市後方支援資料館整備 1棟
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
13,000,000	11,680,491	0	0	11,355,000	325,491	

02款 総務費		01項 総務管理費		02目 文書広報費		
事業名 広報広聴活動事業費						単位：円
事業内容	<p>広報紙により市の施策などを広く市民に周知するとともに、市政なんでも相談箱や市長と語ろう会などを実施しながら、市民からの意見や要望をまとめ、市政に反映させる広報広聴活動を行う。</p>			計 画 値	<p>広報発行回数 12回 市政なんでも相談箱の設置 15カ所 市長と語ろう会 18回</p>	
	成果	<p>「広報遠野」を年12回発行したほか、予算を分かりやすく解説した増刊号「もっと知りたい！ 遠野の予算」を発行し、市政情報やニュース、お知らせなどを周知することができた。「広報遠野」に掲載しきれなかった催しや告知などは、広報ブログ「今日あったずもな」に年間59件掲載し即時的な情報発信にも努めた。 また、自主財源の確保を目的とした有料広告では、合計 1,251,500円の収入を得た。 「市政なんでも相談箱」には24件の提言等が寄せられ、緊急性の高いものは速やかに対応した。 なお、「市長と語ろう会」は、市民の声を次期総合計画等に効果的に反映させるため、平成27年度上期に実施することとした。</p>			実 績 値	<p>広報発行回数（号外含む） 13回 市政なんでも相談箱設置 15カ所 （寄せられた提言等 24件）</p>
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6,045,000	5,437,645	0	0	1,251,500	4,186,145	

02款 総務費		01項 総務管理費		04目 会計管理費		
事業名 会計管理費						単位：円
事業内容	<p>会計事務の適正・円滑な処理を実施する。</p> <p>1 適正な公金の収納・支出を行う。 2 決算の調製を行う。 3 源泉徴収票を発行する。 4 事務能力向上のため会計事務研修会を開催する。 5 岩手県都市会計協議会主催の研修会へ参加する。 会計責任者会議及び職員研修会へ参加する。 6 適正な公金管理のための業務を行う。 (1) 現金及び有価証券等の出納、保管をする。 (2) 公金の資金運用を行う。</p>			計 画 値	<p>会計事務研修会 4回 研修会参加者数 100人 会計事務実地検査 20課等</p>	
	成果	<p>1 会計事務研修会を開催し、適正な会計事務の周知徹底に努めるとともに職員の会計事務に対する能力向上を図った。 また、市財務規則第 222条及び第 223条の規定に基づき会計事務検査を実施し、適正な公金管理の周知徹底を図った。 2 公金管理委員会を開催し、資金運用計画や公金管理運用方針などについて協議し、公金の安全確実な管理と効率的な資金運用に努めた。</p>			実 績 値	<p>会計事務研修会 4回 研修会参加者数 154人 会計事務実地検査 27課等</p>
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6,808,000	6,777,712	0	0	15,000	6,762,712	

02款	総務費	01項	総務管理費	05目	財産管理費	
事業名					市民センター大規模改修事業費	単位：円
事業内容	市民センターの耐震診断結果に基づき、耐震補強設計、改修に向けた基本及び実施設計を実施し、計画的に改修工事を進め、健康づくりと生涯学習の拠点施設としてリニューアルする。			計 画 値	体育館大規模改修工事	1棟
					工事監理業務	1件
成果	市民センター体育館棟の耐震化、主要照明LED化、バリアフリー化を行った。 平成24年度より供用を停止した市民プールを含め、平成27年4月19日にリニューアルオープンをした。			実 績 値	市民会館実施設計業務	1件
					備品購入	ロッカー外7件
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
674,830,000	643,083,703	91,825,000	540,200,000	0	11,058,703	

02款	総務費	01項	総務管理費	05目	財産管理費	
事業名					公共施設耐震化等整備事業費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	市民センターの耐震診断に基づき、改修工事をを行うため、計画的な改修工事を実施出来るよう、体育館棟の改修を含めた耐震工事実施設計を行う。 実施設計の内容に変更が生じ、委託契約期間の延長が必要となったことから、平成26年度に繰り越して実施する。			計 画 値	市民センター体育館棟の改修を含めた耐震工事実施設計業務	1カ所
					実績値	
成果	市民センターの耐震診断に基づき、改修工事をを行うため、計画的な改修工事を実施出来るよう、体育館棟の改修を含めた耐震工事実施設計を行った。			実 績 値	市民センター体育館棟の改修を含めた耐震工事実施設計業務	1カ所
					実績値	
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
29,856,000	27,200,000	0	0	0	27,200,000	

02款	総務費	01項	総務管理費	06目	企画費	
事業名					経営企画費	単位：円
事業内容	<p>本市が目指す将来像や具体的な施策を明らかにした「遠野市総合計画」（平成18～27年度）の着実な推進と進行管理を行う。さらに政策会議等を開催し、重要施策の企画や総合調整を実施するとともに、国・県への要望、政策提案を行う。</p>			計画値	<p>総合計画審議会開催 5回 定例庁議開催 毎週月曜日 政策会議開催 随時</p>	
	成果	<p>1 総合計画の進行管理 平成27年度当初予算編成時点において、後期基本計画登載事業は、171事業となった。 また、平成26年度末時点における事業着手率は95.1%（155/163事業）となった。 第2次市総合計画策定に向け、現状分析、住民意向の把握等を実施し基本構想案の策定に取り組んだ。</p> <p>2 永遠の日本のふるさと遠野基金 行政課題に対応する施策に要する経費の財源確保を目的に、平成19年3月に設置した当該基金の平成26年度の充当状況は、8事業5,546万7,000円となった。 また、災害支援金や市民等からの寄附金54件1,505万6,964円のほか、基金利子96万3,339円の積み立てにより、平成26年度末の基金残高は4億7,358万5,751円となった。</p> <p>3 遠野の元気創造基金 産業の振興や市民協働による集落の整備等の行政課題に対応する経費の財源確保のため、平成22年12月に設置した当該基金の平成26年度の充当状況は18事業1億9,347万1,000円となった。 また、過疎債1億7,000万円のほか、基金利子39万8,412円の積み立てにより、平成26年度末の基金残高は1億8,987万8,862円となった。</p>			実績値	<p>総合計画審議会開催 3回 定例庁議開催 毎週月曜日 政策会議開催 12回</p>
予算額		決算額	財源			内訳
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
197,265,000	195,309,720	0	170,000,000	16,418,715	8,891,005	

02款	総務費	01項	総務管理費	06目	企画費	
事業名					第三セクター等経営改革推進事業費	単位：円
事業内容	<p>高度経済成長期の人口構造、産業動向等を背景としたこれまでのまちづくり手法から、今後さらに進むであろう少子高齢化、人口減少等の地域実態に即したまちづくり手法への転換を図るため、外部有識者による「第二次遠野市進化まちづくり検証委員会」を設置し、10年後、20年後をイメージしたまちづくりの仕組みについてさまざまな提言をいただき、過疎地域が共通に抱える課題を抜本的に解決することをねらいとする。</p> <p>また、第三セクター等の個別経営改革及び同団体の有機的連携の実現を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検証委員会開催予定 4回 ・市民ワーキング会議 3回 ・第三セクター等の研修会等の実施 			計画値	<p>進化まちづくり検証委員会の開催 4回 (計画3回、随時1回)</p> <p>市民ワーキング会議の開催 3回</p> <p>有機的連携実証事業の実施 1回</p>	
	成果	<p>第二次遠野市進化まちづくり検証委員会は、地域の役員との意見交換を行いながら、8月に「地域コミュニティに係る中間総括」を取りまとめた。その後も、市民ワーキング会議の開催など地域住民の声を聞きながら、今後の地域コミュニティのあり方について検証を進めた。</p> <p>市内の第三セクター等の経営改革推進においては、役員レベルによる「経営円卓懇話会」や事務局長会議を開催して、各団体の課題の共有を図ったほか、合同での職員研修会のあり方などについて意見交換を行った。</p>			実績値	<p>進化まちづくり検証委員会 3回</p> <p>現地視察会(附馬牛) 1回</p> <p>市民ワーキング会議 2回</p> <p>第三セクター等経営円卓懇話会 1回</p> <p>第三セクター等事務局長会議 1回</p>
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
1,587,000	1,056,252	0	0	0	1,056,252	

02款	総務費	01項	総務管理費	06目	企画費	
事業名					エネルギービジョン推進事業費	単位：円
事業内容	<p>昨年度策定した新エネルギービジョン(骨子)に基づき、年内のビジョン成案化を目指す。</p> <p>また、再生可能エネルギーの導入には大規模開発を伴う場合があることから、市内における発電事業の取り組みを把握し、景観資源との調和を図る必要がある。この取り組みを実現するため、ビジョンの策定とあわせて新たな条例の制定を目指す。</p>			計画値	<p>新エネルギービジョン策定(12月末までに策定)</p> <p>景観資源の保全と再生可能エネルギーの活用との調和に関する条例(12月末までに制定)</p>	
	成果	<p>新エネルギービジョン(骨子)に基づく各種調査や分析、施策提言には、幅広い知見と立案能力が求められることから、指名型プロポーザル方式により委託業者を選定して進めた。</p> <p>また、エネルギー施策に対する要望や意見を反映させることを目的に、市民との意見交換を2回開催した。この議論を踏まえ、市民が気軽に取り組みのような、身近な施策も盛り込むことができた。</p> <p>条例制定については、市内で予定されている再生可能エネルギー設備計画を可能な限り把握できるような基準を設けるとともに、市民、事業者、行政の各責務を明記し、それぞれの立場で再生可能エネルギーの普及啓発に努めることを定めた。</p>			実績値	<p>新エネルギービジョン策定(11月策定)</p> <p>景観資源の保全と再生可能エネルギーの活用との調和に関する条例(12月議会可決)</p>
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
4,332,000	3,872,220	0	0	0	3,872,220	

02款	総務費	01項	総務管理費	06目	企画費
事業名		まちづくり再生事業費			単位：円
事業内容	遠野市のまちづくりを総合的かつ集中的に推進するため、各種研修への参加、先進地視察の実施及び旧中学校施設の利用等を図る。			計画値	各種研修への参加 3件
					先進地視察 1件
成果	まちづくりに係る各種研修への参加及び先進地視察を通して、課題の把握やまちづくりの展開事例を確認することができた。 また、旧中学校施設利活用に係る工事の実施により、地域住民をはじめとする当該施設を利用する方々の利便性を向上することができた。 (旧土淵中学校 = 看板設置工事、廃材処理工事等、 旧小友中学校 = 自転車置場撤去工事)			実績値	各種研修への参加 4件
					先進地視察 1件
予算額		決算額		財源内訳	
				国県支出金	地方債
				その他	一般財源
2,600,000		2,251,109		0	0
				0	2,251,109

02款	総務費	01項	総務管理費	06目	企画費	
事業名					みらい創りカレッジ推進事業費	単位：円
事業内容	<p>地域・産業の発展と人材育成を目的に、旧土淵中学校施設を活用して地域再生交流拠点「遠野みらい創りカレッジ」を開校する。</p> <p>1 文化芸術創造発信事業 『遠野物語』を生んだ豊かな地域文化とその活動を培ってきた「永遠の日本のふるさと遠野」の魅力に新しい付加価値を創造することを目的に、次の4つの事業を複合的に実施し、持続的な地域文化の発展、担い手の育成、新しい交流・情報発信の推進を図る。 (1) 遠野みらい創りカレッジ事業（地域文化人材育成事業） (2) 『遠野物語』の多言語化・情報発信事業 (3) 外国人留学生・大学研究者・地域の文化再発見事業 (4) 『遠野物語』のアニメ制作事業</p> <p>2 旧土淵中学校改修整備事業 地域再生交流拠点「遠野みらい創りカレッジ」としての機能を高めるため施設改修を行う。</p>			計画値	<p>1 文化芸術創造発信事業 (1) 遠野みらい創りカレッジプログラム開発実施 (2) 『遠野物語』ドイツ語イタリア語翻訳 (3) 外国人留学生による地域文化再発見フィールド調査報告書 (4) 『遠野物語』を題材としたアニメ制作</p> <p>2 旧土淵中学校改修整備事業 ・旧土淵中学校改修工事 他</p>	
	<p>平成26年4月8日、富士ゼロックス株式会社と協定を結び、地域再生交流拠点「遠野みらい創りカレッジ」を開校した。</p> <p>1 文化芸術創造発信事業 (1) 遠野みらい創りカレッジ事業(地域文化人材育成事業) 地域・企業・大学等と連携して各種プログラムを実施し、触れ合うように学ぶ新たな交流拠点となった。 (2) 『遠野物語』の多言語化・情報発信事業 友好都市の伊・サレルノ市と独・シュタイナウ市との交流を契機に、『遠野物語』の翻訳を行い、国際交流の資料を整えた。 (3) 外国人留学生・大学研究者・地域の文化再発見事業 外国人留学生による地域の魅力を再発見する実地調査を行うとともに地域の生徒との交流により、国際理解を深める機会とした。 (4) 『遠野物語』のアニメ制作事業 新しい文化基盤として『遠野物語』を題材としたアニメを制作した。</p> <p>2 旧土淵中学校改修整備事業 旧土淵中学校改修工事が平成27年2月27日に完了し、遠野みらい創りカレッジの施設環境の充実を図ることができた。なお、改修工事完了後に雨漏り工事が必要となったことから平成27年度に繰り越して実施する。</p>				実績値	<p>1 文化芸術創造発信事業 (1) 遠野みらい創りカレッジ ・プログラム実施数 20事業 ・利用者数 3,569人 (2) 『遠野物語』ドイツ語イタリア語翻訳 (3) 外国人留学生による地域文化再発見フィールド調査報告書 (4) 『遠野物語』を題材としたアニメ制作</p> <p>2 旧土淵中学校改修整備事業 ・旧土淵中学校改修工事 他</p>
予算額	決算額	財源		内訳		
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
99,293,000	95,570,260	47,474,643	0	41,000,000	7,095,617	

02款	総務費	01項	総務管理費	06目	企画費	
事業名					旧上郷中学校施設改修整備事業費	単位：円
事業内容	<p>旧上郷中学校施設の利活用については、地域住民との話し合いを重ねながら「民間活力と郷土芸能を活かしたコミュニティ活動の増進」をテーマに据えて、地域の活性化に取り組むこととしている。</p> <p>平成26年度は、利活用の1つのコンセプトである郷土芸能をテーマに市内郷土芸能団体の歴史や資料の保存、郷土芸能団体の練習、発表、伝承活動の拠点施設として展示基本設計を行う。</p>			計画	展示基本設計	
	<p>旧上郷中学校施設の利活用について地域住民と具体的に協議を進める上で必要となる利活用の具体的なイメージを情報共有するための展示基本設計に着手することができた。</p> <p>なお、設計内容について、さらに地域住民との協議を重ねて実施する必要があるため一部を平成27年度に繰り越して実施する。</p>			実績	展示基本設計	
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
4,000,000	1,490,000	0	0	0	1,490,000	

02款	総務費	01項	総務管理費	08目	庁舎建設費	
事業名					本庁舎整備事業費	単位：円
事業内容	<p>東日本大震災で被災した本庁舎機能の整備については、市民懇話会からの提言をもとに、遠野市進化まちづくり検証委員会の検証結果及び市民説明会での意見を踏まえ、市民の利便性や中心市街地のにぎわい創出の視点を重視し、これまでどおり遠野市中心市街地活性化センター(通称：とびあ)を活用しながら、その南側エリアに用地を確保し、2階渡り廊下で接続する建築方式の整備方針とした。</p> <p>この方針に基づき、平成29年3月の完成を目指して、平成26年度は各種業務委託及び物件移転等補償を実施する。</p> <p>併せて、本庁舎機能及び中心市街地活性化の環境整備に住民の意見を反映させるため「遠野のまちづくりを考える市民ワークショップ」を設置する。</p>			<p>本庁舎整備用地測量業務</p> <p>本庁舎整備物件移転補償調査積算業務</p> <p>本庁舎整備不動産鑑定評価業務</p> <p>本庁舎建設工事設計業務</p> <p>物件移転等補償契約 7件</p> <p>計画値</p> <p>遠野のまちづくりを考える市民ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 5回 ・提言書作成 <p>地権者全体説明会 2回</p>		
	<p>本庁舎の整備に当たり、用地交渉等を進めるとともに、各種業務委託及び物件移転等補償を実施し事業の推進を図った。</p> <p>なお、設計内容を十分検討する必要性と物件移転等完了に時間を要したことから、設計業務(一部)と物件移転等補償契約5件を平成27年度に繰り越し実施する。</p> <p>「遠野のまちづくりを考えるワークショップ」は、高校生4人を含む10代から60代の各世代のバランスを図った委員20人の組織として設置。6回のワークショップを通して、140項目の提言をまとめた提言書を完成させた。この提言書を平成27年2月25日に受理し、市民が望む本庁舎及び中心市街地のあり方を把握することができた。</p>			<p>本庁舎整備用地測量業務 1件</p> <p>本庁舎整備物件移転補償調査積算業務 6件</p> <p>本庁舎整備不動産鑑定評価業務 1件</p> <p>物件移転等補償契約 2件</p> <p>本庁舎建設工事設計業務</p> <p>実績値</p> <p>遠野のまちづくりを考える市民ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 6回 ・提言書完成 <p>地権者全体説明会 3回</p>		
予算額	決算額	財源		内訳		
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
252,643,000	65,252,920	0	0	32,700,000	32,552,920	

02款	総務費	02項	徴税费	02目	賦課徴収費
事業名		納税奨励費			単位：円
事業内容	<p>納税貯蓄組合連合会に対して補助金を交付し、納税貯蓄組合の指導・育成を図り、市税の納期内完納の達成を期する。</p> <p>また、納税貯蓄組合に市税等納付促進業務を委託し、組合の活性化及び市税などの納期内完納を目指す。</p> <p>・市税等納付促進事業業務委託料 … 各組合への支出額 6,985,650円</p> <p>・納税貯蓄組合育成強化補助金 … 市連合会への交付額 900,000円</p> <p>・組合加入状況 … 組合数 126組合</p> <p>(加入世帯 2,768世帯、加入率 25.5%)</p> <p>(委託対象世帯 2,562世帯、加入率 23.6%)</p>			計画値	納期内納付率 100%
	成果	<p>平成26年度に納税貯蓄組合で取り扱った市税（国民健康保険税を除く）は299,853千円で、前年度より9,502千円の減となった。また、納期内納付率は99.3%で前年実績を維持した。</p> <p>市納税貯蓄組合連合会の事業として、女性部研修会、「中学生の税についての作文」の作品募集、表彰を実施した。</p> <p>また、「納税だより」を市内全世帯に配布したことにより、納税思想の普及が図られた。</p>			実績値
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
8,466,000	7,921,650	0	0	0	7,921,650

02款	総務費	03項	戸籍住民基本台帳費	01目	戸籍住民基本台帳費
事業名		市民窓口サービス事業費			単位：円
事業内容	<p>市民サービスの充実や市民が利用しやすい窓口サービスを提供するため、次の業務を実施する。</p> <p>1 市民サービスコーナーの開設 ショッピングセンターとびあ1階に市民サービスコーナーを開設し、平日の夜間及び土日祝日の市役所閉庁時間帯に戸籍以外の証明書の発行・交付及び公金収納を行う。</p> <p>2 小友郵便局での証明書発行 小友郵便局と協定を締結し、ファクシミリ回線を利用して各種証明書を小友郵便局の窓口で交付する。</p>			計画値	年間取扱件数 市民サービスコーナー 3,950件 小友郵便局 150件
	成果	<p>1 市民サービスコーナーの開設 平日（とびあ定休日除く）午後5時15分から午後7時まで、土日祝日（年末年始除く）午前9時30分から午後5時まで開設し、各種証明書の発行・交付及び公金収納を行った。 （諸証明発行取扱件数 1,530件 公金収納取扱件数 2,864件）</p> <p>2 小友郵便局での証明書発行 小友郵便局の開局時間帯である平日の日中にサービス提供を行った。</p> <p>本サービスは定着してきており、平日にとびあ庁舎や総合支所へ来庁できない市民にとって利便性があり、市民サービスの充実につながった。</p>			実績値
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
9,636,000	9,376,519	0	0	9,000,000	376,519

02款	総務費	04項	選挙費	03目	農業委員会委員選挙費	
事業名					農業委員会委員選挙費	単位：円
事業内容	平成27年3月1日任期満了に伴う遠野市農業委員会委員選挙の執行			計画値	委員定数	24人
	1 立候補届出受付事務 2 選挙人名簿登録事務 3 投票所入場券作製（委託業務） 4 投票所入場券発送事務 5 投票事務（期日前、不在者、投票日当日） 6 開票事務 7 投開票報告事務 8 当選証書付与事務 ほか					
成果	平成27年2月22日執行の遠野市農業委員会委員選挙は、立候補者の数が選挙すべき定数を超えなかったことから、無投票となった。			実績値	立候補者	24人
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
6,161,000	1,574,712	0	0	0	1,574,712	

02款	総務費	04項	選挙費	04目	市議会議員選挙費	
事業名					市議会議員選挙費	単位：円
事業内容	平成26年10月31日任期満了に伴う遠野市議会議員選挙の執行			計画値	【前回】投票率	77.84%
	1 立候補届出受付事務 2 選挙人名簿登録事務 3 ポスター掲示場設置及び撤去（委託業務） 4 投票所入場券作製（委託業務） 5 投票所入場券発送事務 6 投票事務（期日前、不在者、投票日当日） 7 開票事務 8 投開票報告事務 9 選挙公営費等支払事務 ほか				開票終了時刻	21時30分
成果	任期満了に伴う遠野市議会議員の選挙は、平成26年10月26日に執行され、定数削減後初の選挙となった。 18人の定数に対し19人が立候補したが、特に大きなトラブルもなく、執行することができた。 また、自書式読み取り分類機（ユニット）の購入により開票作業をスムーズに進めることができた。			実績値	投票率	74.69%
					開票終了時刻	21時03分
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
36,920,000	36,909,978	0	0	0	36,909,978	

02款	総務費	04項	選挙費	05目	衆議院議員総選挙費	
事業名					衆議院議員総選挙費	単位：円
事業内容	平成26年11月21日解散に伴う第47回衆議院議員総選挙及び第23回最高裁判所裁判官国民審査の執行 1 選挙人名簿登録事務 2 ポスター掲示場設置及び撤去（委託業務） 3 投票所入場券作製（委託業務） 4 投票所入場券発送事務 5 投票事務（期日前、不在者、投票日当日） 6 開票事務 7 投開票報告事務 ほか			計 画 値	【前回】 投票率 小選挙区 63.13% 比例代表 63.13% 国民審査 62.14% 開票終了時刻 小選挙区 21時40分 比例代表 22時10分 国民審査 22時30分	
	成果	解散による選挙で、告示までの期間が11日と大変短いものとなった。また冬季の選挙となったため、寒さや雪に対する備えが必要となった。 さらに、開票は市民体育館が改修中で使用できず、中学校の体育館で行ったが、慣れない場所での作業にもかかわらず大きなトラブルもなく順調に行うことができた。			実 績 値	投票率 小選挙区 57.27% 比例代表 57.27% 国民審査 55.92% 開票終了時刻 小選挙区 21時13分 比例代表 21時24分 国民審査 22時02分
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
18,803,000	18,574,072	16,993,625	0	0	1,580,447	

02款	総務費	05項	統計調査費	02目	各種統計調査費	
事業名					各種統計調査費	単位：円
事業内容	統計法に基づく基幹統計調査のうち、市を経由して実施される統計調査について、適正かつ迅速に実施する。 ・学校基本調査（平成26年5月） ・経済センサス基礎調査（平成26年7月） ・全国消費実態調査（平成26年9月） ・工業統計調査（平成26年12月） ・農林業センサス（平成27年2月） ・国勢調査調査区設定			計 画 値	学校基本調査 19校 経済センサス基礎調査 市内全事業所 全国消費実態調査 24世帯 工業統計調査 107事業所 農林業センサス 農林業世帯及び組織 国勢調査調査区設定	
	成果	今年度は毎年行われる統計調査に加え、経済センサス基礎調査、全国消費実態調査、農林業センサスと5年に一度の大規模調査が行われたが、統計調査員と連携し、適正かつ迅速に調査を実施した。			実 績 値	学校基本調査 19校 経済センサス基礎調査 1,446事業所 全国消費実態調査 24世帯 工業統計調査 106事業所 農林業センサス 5,015世帯及び団体 国勢調査調査区設定 257調査区
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8,608,000	8,395,243	8,390,000	0	0	5,243	

02款	総務費	06項	監査委員費	01目	監査委員費	
事業名					単位：円	
監査委員事務費						
事業内容	公正で、かつ、能率的な市の行政運営確保のため、違法、不正の指摘にとどまらず、指導に重点を置いて監査等を効率的かつ効果的に実施する。			計 画 値	監査の種類	14種類
	<ul style="list-style-type: none"> ・決算審査…一般会計・特別会計、水道事業会計 ・定期監査…工事監査、補助金監査 ・その他の監査等…水道事業棚卸監査、有価証券等監査、財政援助団体監査 基金の運用状況審査、出資法人監査、指定管理者監査、健全化判断比率等審査 ・例月現金出納検査…毎月実施 				監査日数	120日
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・工事監査22件(7日) ・出資法人監査5件(4日) ・定期監査(前期9日、後期9日) ・一般会計・特別会計決算審査(7月7日～8月21日) ・水道事業会計決算審査(6月5日～8月21日) ・基金の運用状況審査19件(3日) ・水道事業貯蔵品監査(1日) ・例月現金出納検査(12回) 			実 績 値	監査の種類	13種類
	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金等監査20件(7日) ・財政援助団体監査5団体(2日) ・健全化判断比率等の審査(1日) ・有価証券等監査44社(1日) ・指定管理者監査4団体(3日) <p>以上の監査について、事前書類審査を含めてそれぞれ実施し、監査報告書等を提出し公表した。</p>				監査日数	112日
予	算	額	決	算	額	
		財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
807,000		682,583	0	0	0	682,583